

# グリップ挿入方法

グリップの挿入方法は多岐にわたりますが、代表的な方法は、熱、注油剤、空気圧、接着剤のいずれかが良いでしょう。



## 熱

ヒート・ランプ、ヒート・ガン、温熱機(オープンなど)、熱湯などにさらしてください。60 度から 80 度程で材質が柔らかくなり、挿入がしやすくなります。ひとたび熱が下がればグリップは元の硬さ、形状に戻ります。

## 注油剤

注油剤の利用はきわめて効率の良い挿入方法です。石鹼水を右のようにグリップ内部にスプレーするか、グリップの内側を石鹼水に漬けてしまうのが効果的です。石鹼水は温水が良いでしょう。なお石鹼は、乾燥後には接着剤の役目をします。



## 空気

空気圧の利用は長めの発泡グリップの取付けには効果的です。発泡グリップは空気圧で十分に膨張しますので、片側を密閉させた状態で空気圧を加えると、別の片側近くが広がり全体をスライドさせて挿入し易くなります。

## 接着剤

グリップと握り部の接面具合にかかわらず、グリップを完璧にずれなくするには、接着剤の使用しかありません。加えて、接着剤は注油剤としての働きもします。グリップ及び握り部分の材質との組み合わせがありますので、選定につきましては接着剤メーカーへお問合せ下さい。

【参考】 ヘンケルジャパン株式会社 LOCTITE 事業部(ロックタイト)代理店  
東京新資材株式会社  
〒101-0047 東京都千代田区内神田 2 丁目 2 番 5 号 光正ビル 8 階  
TEL 03-5256-0601 FAX 03-5256-0604 URL <http://www.tokyoshinshizai.jp/>